



宮永岳彦記念美術館だより

2020 10月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

市民ギャラリーのご案内

入場無料

宮永岳彦が描く四季の花

思い出の花園

2020年2月28日(金) ▶ 11月23日(月・祝)

11月の市民ギャラリー展覧会の予定

さきおり工房 浩子

11月27日(金)～11月29日(日)

展示作品より今月の一点

《 時計 》



縦 100cm 横 45cm の大きな掛け時計です。正面を見つめる女性の周りにたくさんの花々が散りばめられていて、とても華やかでインパクトがあり、時間を見る前に思わず女性に目を向けてしまいます。どのような場面で使われていた時計なのでしょう。

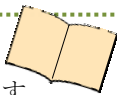
宮永は、たくさんの仕事を抱え、寝る間もないほど忙しい時期もあったそうですが、カレンダーやポスター、表紙画、そしてこのような時計のデザインまで手掛けていて、洋画家としてだけでなく、デザインの分野でも広く活躍していたことが伺えます。

2019年に新たに寄贈され、今回初めての展示です。同じ大きさでデザインの違う時計と共に展示しています。雰囲気異なる二つの時計を見比べて、宮永のデザインの幅の広さをご覧ください。

時計パネル 制作年不明

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

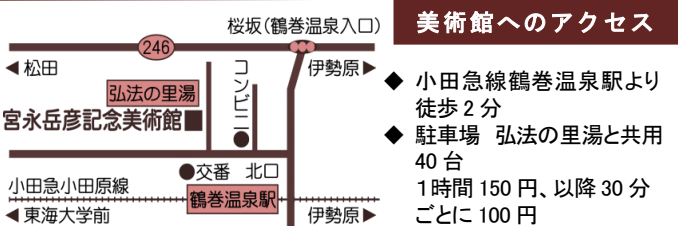
『文学界』挿絵 ～ 菊 ～



そっと咲いている花々が水墨画で描かれています。純文学の世界を邪魔しない、しかし、ふと目をやると癒される、そんなさりげない挿絵になっています。



雑誌挿絵 水墨画 制作年不明



《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

※ 10月1日(木)から2021年4月分までの予約を受け付けています。

※ 市民ギャラリーをご利用時、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、搬入・搬出時を含め会期中の適切な感染予防対策の実施にご協力をお願いします

開催中の『思い出の花園』にちなんで、花についてのエッセイを連載します。今月は日本の秋を代表する花である菊です。

今月の花 「菊」

菊は、キク科キク属の一年草または多年草植物の総称です。原産地は中国で、平安時代には日本に伝わり江戸時代頃から品種改良が進み、庶民に広く栽培され楽しまれてきました。パスポートの表紙や皇室の紋章にも使われていて、日本を象徴する花となっています。

開花時期は9～11月で秋の花として知られていますが、種類が豊富で栽培が容易なことから一年を通して花が流通しています。一重、八重、管咲き、ポンポン咲きなど花の形も様々で、花径20cmを超える大輪から、花径1cmの小輪まであり、花色も暖色系から紫、緑色と揃います。日本から外国に渡り、品種改良されたスプレーマムやガーデンマムなどの洋菊も人気です。中国では古くから薬用として使われ、日本でも香りと歯触りを楽しむ食用菊が栽培されています。菊は邪気を払うといわれ、花の日持ちの良さからもお墓や仏壇にお供える仏花に使われています。

菊は日本人の生活に溶け込んでいる身近な花として親しまれています。



新しいクイズができました

こども向けのクイズをご用意しています。展示されている作品をじっくり見て答えを探してください。高校生以下の観覧料は無料です。お気軽に遊びに来てくださいね。

10月の休館日：5日(月) 12日(月) 19日(月) 26日(月)